

## 令和7年 6月定例会 市長提案説明

6月定例会の開催に当たりまして、所信の一端を申し上げますとともに、今議会に提案いたしました、議案の概要につきまして、ご説明申し上げます。

はじめに、東岡崎駅周辺の整備についてであります。

旧岡ビルもすでに大半が解体されておりまして、私も少年時代から大変馴染みのあった建物が解体されていくのは少し寂しくもあり、感慨深い思いで見守っているところであります。

市政だより等ですすでにご承知のことであると思いますが、今後解体がさらに東側へと進んでいくことに伴い、駅前の道路下をくぐる地下道を6月7日より閉鎖し廃止します。北方面から駅をご利用いただく皆様には当面の間ペDESTリアンデッキや東西の横断歩道へと回っていただくこととなりますが、駅整備が完了した際には新たに駅ビルへと繋がるエレベータやエスカレータ付きの連絡通路を整備する予定でありますので、よろしくお願い致します。

また、今後の駅整備ではいよいよ新しい自由通路等の杭基礎工事が始まり、駅ホームへと繋がる階段などにも影響が出る予定であります。

工事中は何かとご不便をおかけいたしますが、令和11年度の完成を目指し、引き続き着実に整備を進めてまいりますので、期待してお待ちいただきますようお願いいたします。

次に、近年、自転車駐輪場利用者の増加により、収容台数の不足が続いていた愛知環状鉄道・大門駅につきましては、新たに原動機付自転車を含む375台の仮設駐輪場を整備し、3月17日から供用を開始しました。この大門駅駐輪場の整備により、慢性的な混雑状況が解消され、駅利用者の利便性と安全性が向上したところであります。

続いて、学校教育であります。

体育館へのエアコン整備につきましては、現在、中学校20校への整備に向けた事業者選定を進めているところであり、令和8年の6月末にはエアコンの設置が完了する見込みであります。

部活動の地域移行につきましては、岡崎市立中学校地域ブロック部活動「3段階プラン 岡崎モデル」に基づき、昨年度まで5種目の部活動が地域ブロック部活動へ移行しました。本年度はすべての部活動がブロック部活動へ移行します。全ての部活動に部活動指導員を配置し、岡崎の子供たちがスポーツや文化芸術活動に主体的に関わり、安心して活動できる環境を整備していきます。

次に、子育て支援につきましては、岡崎市子ども・子育て支援事業計画に基づき、「はばたく夢 こどもとともに育つ都市 大好き おかざき」を基本理念に、様々な施策を展開してまいりました。

これまでの理念や取組を継承しつつ、本市のこども施策を総合的に推進する「おかざきっ子 育ちプラン 岡崎市こども計画」を策定し、家庭や地域、事業者、行政など社会全体でこどもの健やかな育ちを支える環境づくりを行い、「こどもまんなか社会の実現」を目指してまいります。

私がいつも申し上げておりますとおり、こどもたちの笑顔があふれ、自らのふるさとに対し、これまで以上の大きな愛情と誇りを持てる、そんな「夢ある新しい岡崎」の実現に全力で取り組んでまいります。人口減少が心配される時代であるからこそそうした施策の重要性が高まっていると考えます。

次に、岡崎市民病院につきましては、外来患者が集中する午前中の駐車場不足に対応するため、敷地北側に新駐車場の整備を進めておりましたが、この3月に完成し、4月から新たに349台分の利用が可能となりました。

また、医療機器の整備として、2台目となる内視鏡手術支援ロボット・ダヴィンチを5月末に購入し、現在、稼働に向けて準備を進めております。これにより、手術をお待ちいただいている患者さんの待機期間を短縮し、より多くの患者さんに身体への負担が少なく、術後の回復が早い、ロボット支援手術を受けていただけるよう期待しているところであります。

今後も、安心して利用していただけるよう、施設整備および医療の質の向上に努め、市民病院が地域の皆様に愛され、信頼され、期待される病院であり続けるよう努めてまいります。

3月末に、ミャンマー中部において震度7相当の地震が発生し、甚大な被害の様子がテレビ等で報道されました。亡くなられた方々には謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。このような中、本市保健部所属の職員1名が、4月12日から26日までの間、独立行政法人国際協力機構・JICA(ジャイカ)の国際緊急援助隊医療チームの一員として、被災地での支援活動に従事しました。

帰国後、現地の様子などについて報告を受けた際には、厳しい暑さや突然のスコールなど過酷な状況の中、野外の仮設テントにおいて被災者の診療活動に従事したとのことでありました。また、私への報告だけでなく、防災課や消防署の職員とも現地での活動の様子を共有したと聞いております。率先して志願し、現地に赴いた職員に感謝と敬意を表すとともに、その経験を本市の防災力向上に活かしてまいりたいと考えております。

さて、藤田医科大学岡崎医療センターが、本年4月7日に開院5周年を迎えました。地域医療体制の整備、特に、岡崎駅南土地地区画整理事業に伴い、この地域に、藤田医科大学が運営する24時間365日対応の2次救急医療を担う中核病院の誘致は、私が市長1期目から、医師会の皆様と連携して精力的に取り組んできた重要な政策です。新型コロナウイルス感染症流行初期の大型クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客への対応は、市内外から多くの賞賛の声を頂き、まさに国家的な健康危機への果敢な取り組み事例として、今も記憶に新しいところであります。現在は、地域から信頼される大学病院として、年間1万5千人を超える救急患者を受け入れるなど、急性期医療、救急医療、さらには災害時の医療拠点として、当医療圏に無くてはならない大切な病院として地域に根付いております。あらためて、関係の皆様に感謝を申し上げますとともに、藤田医科大学岡崎医療センターの更なる飛躍を祈念申し上げます。

現在、わが国は、世界に先駆けて超高齢社会に突入しております。そして、今後さらなる高齢化の進展が予測される中、生活習慣病患者及びその予備群や、要介護認定者の増加により、医療費や介護給付費の増大が見込まれます。本市では、こうした大きな社会問題に対処するため、市民の健康寿命を延ばし、心豊か

に生活できる社会の実現に向けた取組として、本年3月に「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を基本目標に掲げた『健康おかざき21計画。第3次計画』を策定いたしました。市民の皆様が心身の健康を自覚し、毎日が楽しいと感じることのできる「健やかで心豊かなまち おかざき」を目指してまいります。

次に、3月下旬からスタートしました桜まつりは、期間中を通して天候にも恵まれ、乙川河川敷の飲食出店を含め、多くの方々に桜を楽しんでいただくことができました。期間中の土日に実施した予約制駐車場やパークアンドライドの利用促進や公共交通機関をご利用いただき、大きな交通渋滞なく、開催することができました。また、桜まつり最終日、4月6日の家康行列は、出陣式の少し前頃から奇跡的に晴れ渡り、大河ドラマ「どうする家康」で徳川信康を演じた若手俳優・細田佳央太さんを家康公役に迎え、岡崎観光伝道師で本市出身のフリーアナウンサー・青木源太さんに総合MCを務めていただき、満開の桜の下、晴れやかに開催することができました。ご協力をいただきました地元の皆様、関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

桜まつりのあとには、4月18日からは五万石藤まつりを、また、ゴールデンウィークが始まる4月26日、27日には豊島将之九段をはじめ9名の人気棋士の皆様をお招きして「第32回将棋まつり」を開催し、市民の皆様、市外の皆様に「春の岡崎」を楽しんでいただけたものと感じております。

さて、毎年2月に滝町で行われている「瀧山寺鬼祭り」が令和7年3月28日に本市で初めて国の重要無形民俗文化財に指定されました。「瀧山寺鬼祭り」は、鎌倉時代に始まったと伝えられる天下泰平や五穀豊穡を祈る祭礼で、国の指定に向け、調査報告書や映像記録の作成などを進めてきたものです。

今後とも、本市に伝わる貴重な文化財が後世に伝えられるよう支援を続けてまいります。

それでは、この度、本議会に提案をいたしております、議案について説明させていただきます。

まず、条例議案といたしましては、地方税法等の一部改正に伴い、関連する規定を整備する「岡崎市市税条例の一部改正」、国家公務員及び民間労働者との均衡を図るため、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置の拡充に関する所要の規定を整備する「岡崎市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び岡崎市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について」など、3件を提案させていただいております。

その他議案といたしましては、ごみ収集業務用の塵芥車、救急業務用の高度救命処置用資機材及び学校用のタブレット端末に関する「物品の取得」など、8件を提案させていただいております。

続きまして、補正予算議案であります。

一般会計の補正は、63万1千円の増額、特別会計は、295万1千円の増額、企業会計は、2,072万1千円の増額であります。

一般会計の主なものとしては、

民生費は、

国の補助基準単価が増額改定されたことによる、私立保育園園舎建替等事業費補助金及び放課後児童健全育成事業費補助金の増額、

衛生費は、

令和6年度の接種実績が確定し、当初見込んだ接種率を見直したことによる、新型コロナウイルスワクチン接種委託料の減額、

農林業費は、

国の補助事業に採択されたことに伴う、農業構造転換支援事業費補助金の計上

土木費は、

被災した市道北岡学校橋線の復旧に係る道路測量設計委託料の計上、

教育費は、

県補助金の交付決定に伴う、教員業務支援員の追加配置に係る会計年度任用職員報酬等の増額

などをお願いしております。

以上が今議会に提案いたしました議案の概要であります。

去る5月16日に、自民清風会、民政クラブ、公明党、チャレンジ岡崎の市議会4会派合同による令和7年度当初予算における市民及び事業者に対する早期予算対応の要望書をいただきました。

令和7年度当初予算につきましては、人件費や扶助費といった義務的経費の伸びが市税収入の増を上回る「実質的な歳入減少時代」という状況や、財政調整基金が40億円以上大幅に目減りをしている状況を踏まえ、廃止・縮小された事業がある中、慎重な議論の上、ご議決いただいたこと、改めてお礼申し上げます。

お米の価格に代表される物価高の影響を考慮し、給食費につきましては、従前より実施している4月の無償化に加え、12月の無償化の実施や、給食費の値上げ分を保護者負担に転嫁せず、公費負担とする3月の補正予算を提出させていただきました。また、燃油価格の高騰に対する影響を考慮した施設園芸農家への支援策や、配合飼料の高騰に対する影響を考慮した畜産農家への支援策、給食材料費のさらなる高騰に対しての保護者負担へ転嫁させない支援策を6月補正予算として本定例会に提出しております。

今後につきましては、アメリカに端を発する関税政策の影響が不透明ではありますが、議会4会派の議員の皆様からいただいた思いでもあります、市民生活に影響を及ぼさないように、物価高騰に対する国の臨時交付金を活用した事業の対応を検討してまいります。

次に、生物多様性の損失に歯止めをかけ、回復軌道に転じる「ネイチャーポジティブ」の実現や、2030年までに陸と海の30%以上を保全する30by30(サーティ・バイ・サーティ)の達成にむけ、企業等による里山の保全、外来生物の防除、希少種の保護など生物多様性の維持・回復・創出に貢献する活動に対し、地域生物多様性増進法に基づく計画の作成などを支援してまいります。脱炭素社会の推進に向けた取組として、太陽光パネルなどの設備の設置に対する補助につきましては、国の交付金の増額を受け、本定例会における補正予算議案にて増額をお願いさせていただいておりますが、今年度から、これまでの一般家庭住宅用に加え、事業者によるものも対象として枠組みを広げます。また、市内の工務店や工事業者によって再エネ・省エネ設備が設置される仕組みの構築を目指すことにより、地域内経済の活性化にも注力してまいります。

次に、令和9年3月末に造成完了を目指している阿知和地区工業団地におきましては、第1期、第2期と進出企業の募集を行い、これまでに4区画の優先交渉権者が決定しております。残りの2区画については、4月14日に募集要項を公表し、改めて募集事務を開始したところです。企業の立地は、新たな雇用と所得の創出、税収の増加、地域ブランドの向上に繋がるなど、地域活性化の礎となるものです。阿知和地区工業団地の魅力を広く伝えることで、すべての区画の優先交渉権者を早期に決定できるよう、努めてまいります。

QURUWAエリアでは、令和2年度からスマート技術やデータ活用でまちづくりを下支えするスマートシティを推進しております。今年度も国土交通省から全国で最も手厚い支援を受け、QURUWAエリアへの民間投資誘導に向けた公民連携事業を行ってまいります。

また、このような継続的な取組みが情報通信の発展に貢献していると評価され、総務省の東海総合通信局長から表彰されることとなりました。今後もデジタルやデータを活用したまちづくりでも国内をけん引してまいりたいと思います。

次に、スポーツの分野では、岡崎市をホームタウンとするジェイテクトSTINGS愛知が、SVリーグ初代チャンピオンを決めるチャンピオンシップファイナルに進出しました。本市では、試合に合わせパブリックビューイングを福祉会館で開催し、私もSTINGSファンの皆様と一緒に応援しました。惜しくも初代チャンピオンの座は逃しましたが、実力は互角、接戦に次ぐ接戦で来シーズンこそ優勝が期待できるいい戦いであったと感じました。そして、何よりも会場全体が1つとなった盛り上がりを見て、スポーツをとおして市民が元気に、まちが元気になる姿を見て、これから益々市をあげてジェイテクトSTINGS愛知を盛り上げ、応援していく決意を新たにいたしました。またシーズン中は多くのファンが岡崎市に訪れホテルや飲食店を利用され経済効果にもつながりました。これからも、市内の事業者と連携し地域の活性化にも取り組んでまいります。

2026年開催の第20回アジア競技大会では、野球・バレーボール・アーチェリー、第5回アジアパラ競技大会では、座位バレーボール・アーチェリーの競技が本市の

中央総合公園を会場として予定されています。本大会をより市民の皆様にも広く知っていただくため、4月6日の家康行列では、アジア各国の人々がそれぞれの国の民族衣装をまとい「アジアフレンドシップ隊」として参加し、沿道の皆さんがアジアの文化に触れあいながら大会についても知っていただく良い機会になったと感じております。今後は、市内の小中学校でも「アジアフレンドシップ事業」を実施するとともに、10月には中央総合公園で、大会1年前イベントの開催も予定しており、更なる気運の醸成を図ってまいります。

私が、前回在任時に始まった事業である、愛知県初の本格的アウトレットモール「三井アウトレットパーク 岡崎」が、いよいよ今年11月にオープン予定となりました。

この施設は、バラエティ豊かなお買い物体験ができる、約160店舗が集まるアウトレットゾーンと、日常使いができる、約20店舗の緑豊かな「OKAZAKIMARKET（オカザキマーケット）」が共存する、新しいコンセプトのアウトレットモールとして、毎日お越しいただきたくなるような空間を創出すると伺っております。

本市といたしましても、アウトレットを一つの核として、東部地域から額田地域に向けてさらなる整備を進め、地域の活性化につなげてまいります。

この様に、皆様の御協力を得て、かつてまいした種が着々と実りの時を迎えております。そうした変化を、ぜひとも岡崎市の新たな成長の礎としたいと考えております。

最後に、令和7年の花火大会は、第77回を迎えます。8月2日の土曜日を予定しており、6月下旬から有料観覧席の市民先行販売を開始いたします。あわせて、サテライト会場の設置やテレビ放送の生中継など、会場以外でもより多くの皆様に臨場感を持ってご覧いただけるよう、準備を進めておりますので、ぜひ御家族でお楽しみ頂きたいと思っております。

以上、ご説明を申し上げますとともに、提出をいたしております、諸議案につきまして、よろしくご審議の上、ご議決を賜りますようお願い申し上げます、説明を終えさせていただきます。

ありがとうございました。